



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社スノーピーク 上場取引所 東
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長執行役員 (氏名) 山井 太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 金子 聡 (TEL) 03-6805-7738
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	19,534	△14.8	708	△77.2	1,135	△64.1	665	△68.0
2022年12月期第3四半期	22,930	24.7	3,109	21.6	3,162	17.3	2,077	17.6

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,090百万円(△17.7%) 2022年12月期第3四半期 2,541百万円(15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	17.58	—
2022年12月期第3四半期	54.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	36,567	16,990	45.6
2022年12月期	30,733	15,257	48.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 16,663百万円 2022年12月期 15,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,850	△9.5	1,091	△70.3	1,375	△61.9	615	△68.4	16.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 3 Q	38,140,000株	2022年12月期	38,140,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	272,455株	2022年12月期	331,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 3 Q	37,847,662株	2022年12月期 3 Q	37,850,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日)における我が国の経済活動は、5月より新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に下がったことにより、人々が旅行やレジャーを楽しむなど、改善傾向にあります。一方、世界経済においては、ロシアによるウクライナ侵攻の継続、中国における景気減速懸念や、原材料価格の上昇を起因とするインフレ進行など、まだまだ不透明な状況は続いております。

当社グループが属するアウトドア業界につきましては、コロナ影響下での一時的な急拡大から落ち着き、巡航速度での成長に戻ってきていると認識しております。加えて、今年の夏は、記録的な猛暑であったこと、また、西日本を中心に複数の台風が上陸するなど、アウトドア業界全体に影響があったものと認識しております。

このような環境下において、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は主に国内卸売チャネルでの納品が進まなかったことにより前年同期比減収、営業利益は、販管費を予算より削減したものの売上減少の影響が大きく前年同期比減益となりました。詳細は、以下の通りです。

売上高 19,534百万円(前年同期比14.8%減)

営業利益 708百万円(前年同期比77.2%減)

経常利益 1,135百万円(前年同期比64.1%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益 665百万円(前年同期比68.0%減)

国内での事業については、直営店では、顧客と密接な関係を構築していることから、引き続き、来店客数・レジ客数ともに増加しており、売上も堅調に推移しております。一方、卸売では、当社商品の在庫は適正水準に近付きつつあるものの、他社ブランドの在庫はまだまだ適正とは言えない状況が引き続いており、結果として、当社商品のセルインに影響が出ており、売上は前年同期を下回る状況が続いております。

海外での事業については、底堅いアウトドア需要に支えられて回復傾向にある国もあれば、コロナ下での急激な市場拡大が落ち着く過程における卸売先での在庫調整が未だ続いている国があるなど、国ごとで違いがみられております。

地域別の状況について、下記記載させていただきます。

韓国については、コロナ下における急激な成長からは落ち着きが見られてはいるものの、アウトドアが文化として根付いていることから、底堅く推移しており、前年同期比横ばい水準となっております。台湾については、急成長からの落ち着きに伴う卸売先の在庫過多の状況から、売上は前年同期比減少となっております。中国については、昨年設立した合弁会社を中心に、EC推進や、北京等におけるS I S展開など、具体的に進捗をしております。今後は、キャンプフィールド開設や、旗艦店の開設などを進め、中国におけるブランド認知をより高めて参ります。米国については、昨年末より主要卸売先での在庫調整が続いておりましたが、足元、徐々にではあるものの、在庫調整回復の兆しが見え始めております。加えて、他卸売先でのS I S出店などを進めておりますが、売上は前年同期比減少となっております。更に、今年冬に直営キャンプフィールドを開設予定であり、米国においてもブランド認知を拡大して参ります。英国については、現地においてキャンピングイベントを開催するなど活動を徐々に拡大しており、英国のみならずEU圏内での新規取引先の拡大を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ5,833百万円増加し、36,567百万円となりました。流動資産は、商品及び製品の増加4,505百万円、現金及び預金の増加292百万円等があった一方で、受取手形、売掛金及び契約資産の減少805百万円等により前連結会計年度末に比べ4,037百万円増加し、20,706百万円となり、固定資産は、Snow Peak USA, Inc. のキャンプ場「Snow Peak Campfield Long Beach」建設等による建設仮勘定の増加1,049百万円、投資有価証券の時価評価による増加805百万円等により前連結会計年度末に比べ1,796百万円増加し、15,861百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4,100百万円増加し、19,577百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加4,700百万円等があった一方で、未払法人税等の減少450百万円等により前連結会計年度末に比べ4,944百万円増加し14,093百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少612百万円、契約負債の減少233百万円等により、前連結会計年度末に比べ844百万円減少し、5,483百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加665百万円、その他有価証券評価差額金の増加568百万円、為替換算調整勘定の増加557百万円、繰延ヘッジ損益の増加226百万円等があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少453百万円により、前連結会計年度末に比べ1,733百万円増加し、16,990百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月10日に公表いたしました2023年12月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,372	5,664
受取手形、売掛金及び契約資産	3,632	2,827
商品及び製品	6,057	10,562
仕掛品	225	254
原材料及び貯蔵品	270	285
その他	1,121	1,122
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	16,669	20,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,561	6,640
土地	1,345	1,365
建設仮勘定	1,088	2,137
使用権資産(純額)	990	996
その他(純額)	763	857
有形固定資産合計	10,749	11,997
無形固定資産		
ソフトウェア	470	533
のれん	50	12
その他	45	88
無形固定資産合計	565	634
投資その他の資産		
投資有価証券	1,136	1,942
繰延税金資産	600	266
その他	1,011	1,020
投資その他の資産合計	2,749	3,229
固定資産合計	14,064	15,861
資産合計	30,733	36,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	737	1,339
短期借入金	5,298	9,998
1年内返済予定の長期借入金	816	816
契約負債	88	210
リース債務	182	215
資産除去債務	79	20
未払金	958	942
未払法人税等	511	60
賞与引当金	67	187
役員業績連動報酬引当金	50	17
従業員業績連動報酬引当金	47	16
その他	312	269
流動負債合計	9,149	14,093
固定負債		
長期借入金	3,060	2,448
リース債務	888	883
退職給付に係る負債	107	131
契約負債	1,275	1,042
資産除去債務	330	341
役員退職慰労引当金	77	90
長期末払金	377	377
繰延税金負債	148	106
その他	61	61
固定負債合計	6,327	5,483
負債合計	15,476	19,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,779	2,779
資本剰余金	5,133	5,133
利益剰余金	6,683	6,894
自己株式	△533	△436
株主資本合計	14,062	14,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	359	928
繰延ヘッジ損益	△13	213
為替換算調整勘定	593	1,151
その他の包括利益累計額合計	939	2,292
非支配株主持分	255	327
純資産合計	15,257	16,990
負債純資産合計	30,733	36,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	22,930	19,534
売上原価	10,177	8,340
売上総利益	12,753	11,193
販売費及び一般管理費	9,643	10,485
営業利益	3,109	708
営業外収益		
受取利息	0	1
補助金収入	102	64
為替差益	—	395
その他	55	52
営業外収益合計	158	514
営業外費用		
減価償却費	—	36
投資有価証券売却損	—	1
支払利息	17	24
債権売却損	7	5
シンジケートローン手数料	1	4
為替差損	75	—
持分法による投資損失	2	11
その他	0	4
営業外費用合計	105	87
経常利益	3,162	1,135
特別利益		
固定資産売却益	0	0
資産除去債務戻入益	—	42
特別利益合計	0	42
特別損失		
減損損失	37	32
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	40	32
税金等調整前四半期純利益	3,122	1,145
法人税、住民税及び事業税	1,176	466
法人税等調整額	△130	△55
法人税等還付税額	△0	△1
法人税等合計	1,045	408
四半期純利益	2,076	737
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	72
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,077	665

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,076	737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182	568
繰延ヘッジ損益	—	226
為替換算調整勘定	647	557
その他の包括利益合計	464	1,352
四半期包括利益	2,541	2,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,542	2,017
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業を単一の報告セグメントとしております。その他については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社グループはアウトドアライフスタイル事業という単一の報告セグメントであり、顧客との契約から生じる収益の内訳は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
ギア	18,891百万円	15,202百万円
アパレル	2,229	2,668
その他	1,809	1,663
顧客との契約から生じる収益	22,930	19,534
外部顧客への売上高	22,930	19,534

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。